



ももに

# ICボールド

せん孔細菌病

縮葉病



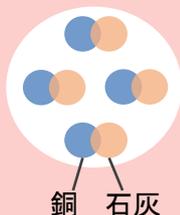
石灰<sup>®</sup>パワーで効きめ長持ち

# ICボルドー

- 登録番号: 第18645号(66D), 第18644号(412)
- 有効成分: 塩基性硫酸銅28.1%(銅として3.7%)(66D)  
塩基性硫酸銅35.0%(銅として2.0%)(412)
- 性状: 青色水性和性粘稠懸濁液体(66D, 412)
- 毒性: 普通物(66D, 412)
- 魚毒性: B類(66D), A類(412)
- 殺菌剤分類(FRACコード): M1(66D, 412)

## ICボルドーの特長

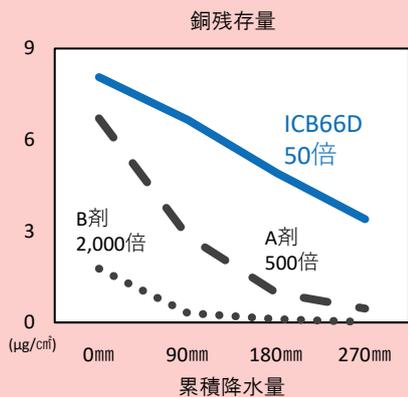
ICボルドーでは銅と石灰が化学的に結合しており、雨などで銅が過剰に溶け出すのを抑えられます



- ◆残効期間が長い
- ◆薬害リスクは低い

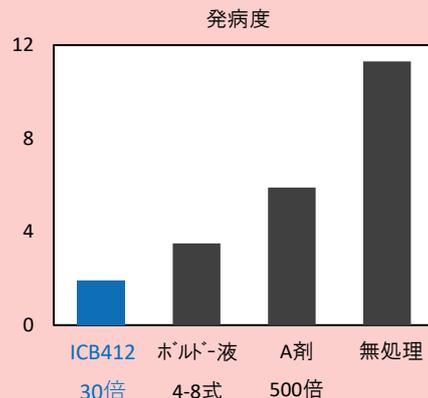
### 銅残存量比較試験

機関 愛媛県農林水産研究所  
果樹研究センター  
品種 伊予柑  
散布日 2015/6/23  
調査日 2015/6/23(散布直後),  
7/2, 7/13, 7/22



### モモせん孔細菌病薬効試験

機関 長野県果樹試験場  
品種 都白鳳  
散布日 1995/4/24  
調査日 1995/6/12



## 散布適期

### 春

#### 発芽期



#### 開花1,2分咲き頃



### 秋

#### 収穫後 (9月中旬以降)



#### 落葉期



## 適用病害虫と使用方法

商品	作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法
ICボルドー66D	もも	せん孔細菌病	50倍	200～700L/10a	—	散布
ICボルドー412	もも	せん孔細菌病	30～50倍			
		縮葉病	30倍			

## 使用上の注意事項(抜粋)

- 石灰硫黄合剤、有機リン剤、マシン油乳剤等を混用すると薬効を減じ、また薬害を起こす原因となるので混用しないこと。
- 散布直後に降雨があると薬害が発生しやすいので注意すること。
- 降雨が多い年には、葉や果実に薬害を生じることがあるので注意すること。
- 高温時の散布では、葉及び新梢にボルドー液特有の銅による薬害が発生する場合がありますので注意すること。

- もも、ネクタリン及びすももに使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、開花後から8月末までは使用しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んでください ●ラベルの記載以外には使用しないでください ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください ●防除日誌を記載しましょう

